



## 欧州現代事情Ⅱ

# CURIOUS U

2019年度春学期教養科目（3・4年生）

好きな専門分野を1科目選択して10日間学んでいく  
学術分野特化型（午前2コマ&午後4コマ）

該当科目（16科目 文理混合-近年話題になっているトピックを開講している）授業も講義形式ではない。

住居のデフォルトはテント（ヨーロッパでは珍しい）、プラスアルファ支払えばキャビン（250ユーロ）や寮（300ユーロ）も選択可能。

# 2019年度春学期 全学教養科目 欧州現代事情Ⅱ・Curious U

オランダのトゥエンテ大学で実施されるサマープログラム (CuriousU) に参加し、興味がある専門分野科目を英語で履修します。また、アムステルダムに2日間滞在します。

## 説明会

4/11, 18, 25, 5/9 (木) 12:15-12:45 国際棟207

CuriousU単独説明会 4/22 (月) 12:15-12:45 国際棟207

## 5つのポイント

- ①「全学教養科目」の単位認定あり  
事前授業+現地研修+事後授業の3部構成
- ②好きな「専門分野科目を英語受講」  
豊富な科目数の中から、自分の好きな科目を1科目選択して、午前中2コマ、午後2コマ授業を受けます。
- ③「勉強とフェス」のコンビネーション  
夕食後は、毎日イベントがあり、スポーツ、ダンス、ゲーム大会など、授業以外の学生とも交流できます
- ④日本人少なく「欧州全土から約200名参加」  
比較的、日本人大学生の参加が少なく、反対にヨーロッパ全土から多くの大学生が参加します。
- ⑤「テント滞在」(無料)で費用を軽減  
滞在中の住居は「テント」、「キャビン」、「寮」、「ホテル」の選択肢があります。ほとんどの学生が「テント」に滞在。

研修企画実施: 海外留学室、University of Twente (CuriousU)

## 専門授業のテーマ(例)

- ・ English for Academic Purposes
- ・ Robot Interaction ・ Smart Cities
- ・ Governance and Ethics of Technologies,
- ・ BLockChain Tech ・ Risk Management
- ・ Finance bootcamp for Smart Businesses 他

## 履修願提出方法

説明会に参加後、担当教員との個人面談を経てウェブ上から履修希望を提出

締 切 | 2019年5月16日(木)正午

申込方法 | 海外留学室ウェブサイトから

問合せ先 | 海外留学室 (国際教育交流センター)

✉ abroad@iee.nagoya-u.ac.jp

☎ 052-789-4594

## 授業・海外研修予定

海外研修: 2019年8月8日(木) - 21日(水)

対 象: 全学部生 (最小履行人数: 5名)

費 用: 約28万円\*

\*海外旅行保険、個人的交際費等は、上記に含まれません。また、外貨為替レートにより金額が若干変動する可能性があります。

奨学金: ①JASSO奨学金・8万円

②名大奨励金・10万円(滞航費支援)

(上記奨学金は支給条件あり)

名大での事前・事後授業(国際棟教室):

【事前授業】

①6/5(水) ②7/3(水) ③7/24(水) 5-6限目

【事後授業】

④8/29(木) 3-4限目

↓ CuriousU概要 ↓



↓ 申込サイト ↓



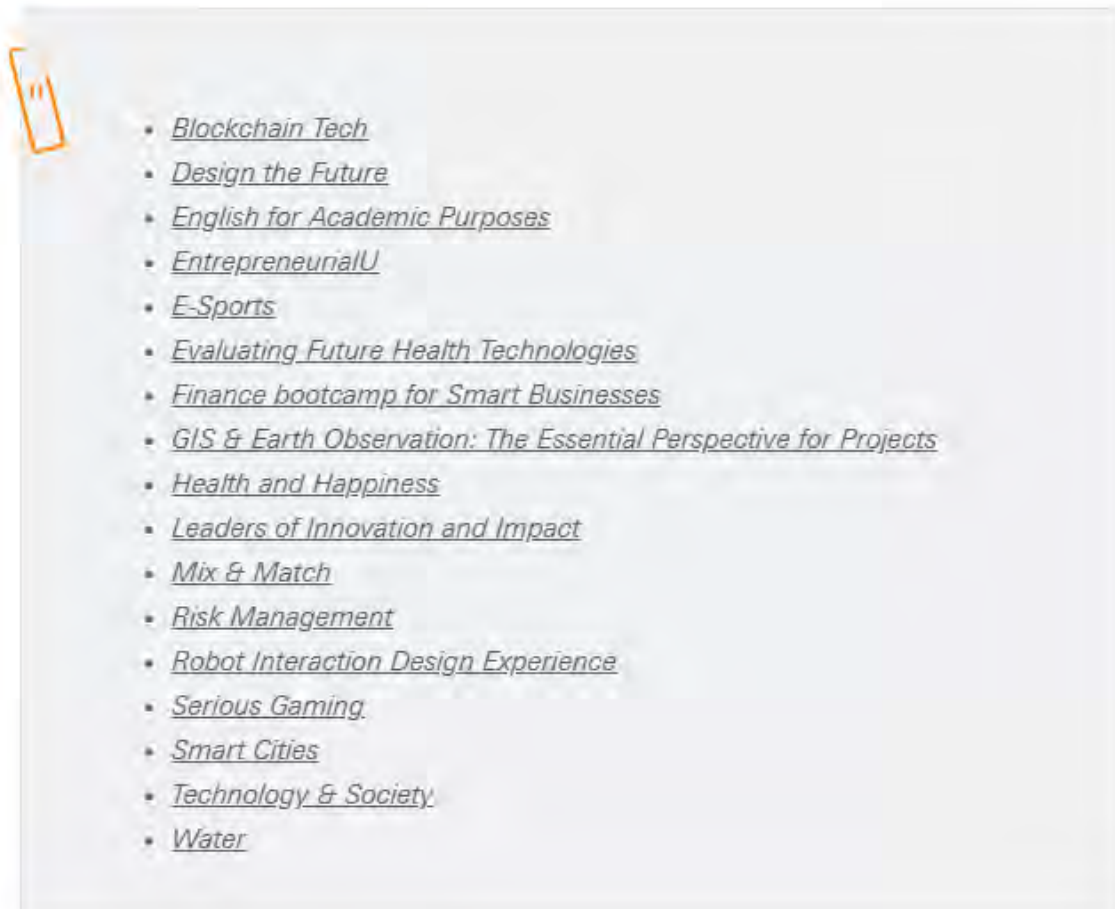


# CURIOSU SUMMER SCHOOL

## CURIOSU 2019: MAIN SCHEDULE

	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00	20:30	21:00	21:30
SUN 11-08					Arrival day: check in																Meet-up and pizza							
													Jogging & sightseeing campus															
MON 12-08	Breakfast & keynote: Mirjam Blokhuys & Milana Drogobova Future				Course				Lunch: Taste the Netherlands & Speed Friending				Course				Free		Dinner		Escape Rooms							
TU 13-08	Breakfast & keynote: Peter-Paul Vorbeek				Course				Lunch: Curious about your future?   & UT students wonders				Course				Free		Dinner		Game night							
WED 14-08	Breakfast & keynote: Sofie Berghuis				Course				Lunch: C-the future of research & Dance Workshop				Course				Free		Dinner BBQ		Beach Volleyball Tournament							
TH 15-08	Breakfast & keynote: Geko Ludden				Course				Lunch: Playland				Course				Free		Dinner City Centre		City Centre Summer Sounds							
FRI 16-08	Breakfast & keynote: Elizabeth Mix				Course				Lunch: ExploreU & VII Parachuting				Course				Free		Dinner		Music Night							
SAT 17-08	Breakfast				Free day																Quiz Night							
SUN 18-08	Breakfast & keynote: Peter Joosten				Course				Lunch: Dutch Olympic games & Graffiti Workshop				Course				Free		Dinner		Movie night							
MON 19-08	Breakfast & keynote: Neil Sheehan				Course				Lunch: Chershing Memories & Pinatas				Course				Free		Dinner		Farewell Ceremony							
TU 20-08	Breakfast				CuriosU Participants Departure																							

WE'LL BE OFFERING GREAT COURSES IN OUR HOTTEST RESEARCH FIELDS



- *Blockchain Tech*
- *Design the Future*
- *English for Academic Purposes*
- *EntrepreneurialU*
- *E-Sports*
- *Evaluating Future Health Technologies*
- *Finance bootcamp for Smart Businesses*
- *GIS & Earth Observation: The Essential Perspective for Projects*
- *Health and Happiness*
- *Leaders of Innovation and Impact*
- *Mix & Match*
- *Risk Management*
- *Robot Interaction Design Experience*
- *Serious Gaming*
- *Smart Cities*
- *Technology & Society*
- *Water*

# 短期研修報告書

記入 | 2019年 9月  
所属 & 学年 | 工学部 3年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウエンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

## 1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

私は、Curious U で、専門科目の授業を英語で受講できる、そして、多様な国籍の人と交流できることにとても魅力を感じました。また、伝統と歴史のあるヨーロッパに実際に行き、日本との違いを感じ、自分の視野を広げたいと思い、このプログラムに応募しました。

申し込み手続きとしては、トウエンテ大学の Curious U のホームページで自分の受講したいコース、滞在(テント、寮、ホテルなど)を選択し、クレジットカードで支払いました。

語学対策としては、TOEIC を留学前に受け、その勉強をしていました。実際に、現地に行くと、自分のリスニング力の乏しさ、単語力の少なさで、会話についていけないことも多々あり、事前にもっとリスニング力を上げておくべきだったと後悔しました。事前に自分の受けるコースに関連する英単語、会話の単語、リスニング力を上げておくの良いと思います。また、学校での事前授業では、自分のとるコースに関する内容、自己紹介を英語で行い、グループでお互いに感想を言い合い、よりよい内容にしていきました。

## 2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

1 日目は、ミッフィーの生地ユトレヒト、風車のあるザーンセスカンスにみんなでバスで行き、観光しました。2 日目は、アムステルダムで自由行動でした。最終日にも、観光できる時間があり、Curious U に参加して学びながらも、観光も十分に満喫できました。

Curious U では、私は、Water の授業をとりました。トウエンテ大学の研究室を見学する、膜を作り、実験をする、“Wetsus”という施設を訪れる(校外学習)、表面張力の簡単な実験をするなどの内容で楽しかったです。ディスカッションやプレゼンは少なく、先生の授業を聞く(英語)、簡単な実験をすることが多かったです。

学生同士の交流は、ご飯を食べる時がよい機会だと思います。ご飯はメインテントで食べました。buffet形式だったので、並んでいるときに、隣の人に話しかけたり、自由に席に座れたので、そこで近くの人と話したりしていました。また、同じ授業をとっている人とも仲良くなりました。

## 3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

初めの 2 日間のアムステルダム滞在時は、いいホテルで、朝食がとてもおいしかったです。また、売店もあり、私はそこでポストカードのお土産を買いました。

Curious U では、テントに滞在しました。テントはあらかじめ設置されており、自分で組み立てる必要はありませんでした。また、マットレスと寝袋、枕が用意されており、想像していたよりも、快適に過ごせました。ただし、とても寒かったです。夜、朝が特に寒く、気温が 13℃ くらいまで下がることもありました。私は、日本からたくさん洋服をもってきていたので、重

ね着をして乗り切りました。大学でパーカーを買っている人も結構いました。また、雨が多かったので、雨をはじく上着などを1着持っていくと便利だと思います。現地の気温を確かめてから、持っていく洋服を決めることをおすすめします。

ご飯はサンドイッチが多かったです。野菜は少ないので、積極的にとるようにしていました。また、大学内にお店があるので、そこで食べ物を買うこともできます(しかし、18:00くらいでしまっけてしまいます)。そのお店のほうが安く買えるので、そこでお菓子などのお土産を買いました。

お金は、基本的にはカードを使いましたが、少量の金額の時や小さいお店などでは、現金しか使えないところもあったので、現金も多少もって行くことをおすすめします。また、VISAがバスでは使えませんでした。Masterは、私が使用したところではすべて使えたので、カードを作るならMasterを作る方が良いと思います。

#### 4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

貴重品(携帯、財布)は小さい鞆に入れ、常に、前にもって行動していました。また、パスポートはスーツケースに入れて保管し、コピーを持ち歩いていました。大学やホテルから出て行動するときは、1人でなく複数人で動く、危ないところには近づかないようにしていました。Curious Uで、レストランに夕食を食べに行く日があり、その日のレストラン近くで行われていたfestivalは治安が悪かったので、怖かったです。

#### 5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

この研修に参加して、外国の人々のプレゼン力の高さ、授業中に思ったことをすぐに発言する姿勢を実感しました。また、外国の人と話すことで、自分の意見をしっかり持たなくてはいけないと感じました。この研修で学んだことを生かし、授業により積極的に、能動的に参加する、日本で困っている外国の人を手助けしたいと思います。留学に行こうか迷っている方がいるなら、絶対に行ったほうが良いと思います。ヨーロッパの街並みも日本とは全然違うので、実際にいってみてください。また、私はこの研修を終えて、自分がより積極的になったと思います。視野も広がります。この研修はいろいろな国の人の英語が聞けるので、国による訛りや話し方の違い、異文化交流もたくさんできます。ぜひ、勇気をもって参加してみてください。絶対、楽しく、成長できる経験が待っていると思います。また、その際には、目標をもって、研修の日々を過ごすよと思います。私は、毎日、新たな人に話しかけることを目標としていました。

※学校が指定した保険には、絶対に入ってください。私は、アムステルダム観光中に、自転車でこけて、病院に行き、保険適用となりました。アムステルダムは、日本と違い自転車道があり、結構ややこしいので、自転車で観光することはあまりおすすめしないです。

ケガや病気には十分注意して、楽しく研修に参加してください。

#### 6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	約 230,000 円	
海外旅行保険	約 12,000 円	
授業料 (教材費含)	76,127 円 (600 1-0)	

滞在費（寮費など）	0 円（テント）	
食費	Curious U のプログラムに含まれています	
交通費	約 3,000 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トゥエンテ大学から空港まで （最終日:約 5.2 1-0 ← 団体割引により）</li> <li>・空港からアムステルダムまで （最終日：観光→ 往復 10 1-0）</li> <li>・free day （ドイツ ミュンsterまで：観光→ 約 8 1-0(団体割引)) など</li> </ul>
通信費	約 15,000	Wifi ルータ （日本から持っていきました）
その他（小遣いなど）	約 20,000 円	お土産、観光地での食事、自転車レンタル代、スーツケース預け代（9 1-0：最終日 空港で） など
計	約 36 万 円	

自由記述欄 \*現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓



アムステルダム滞在時のホテルの朝食 →  
とてもおいしかったです！！



← Curious U : 同じコースの子と！



←wetusus (CuriousU の授業の校外学習で訪れた施設)



←ダム広場にて (アムステルダム観光)  
本物の馬車を初めて間近で見ました！！



←アムステルダムで食べたパンケーキ  
おいしかったです！！



←アムステルダムのきれいな風景

# 短期研修報告書

記入 | 2019年 9月

所属 & 学年 | 工学部 3年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

## 1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

今回このプログラムを選んだ理由としては、より英語を用いて専門的なことを学ぶ経験をすることで良い機会になるのではないかと思ったためです。実際に国際的な環境で生活することができそうだったことも大きいです。最後に、ほとんどがテント滞在だったので金銭的な面でも内容を考えるととてもお得に行けることも決断に大きく後押ししました。出発までの自主的な勉強では少し英語を勉強したくらいで、実際には日々の授業や課題で手一杯だったのが現実でした。事前授業では、異文化体験に関する理解を深めることや自己紹介や自分の取るコースに関する英語を使う練習をしました。

## 2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

オランダに行ってから数日は時差ぼけ解消も込めてアムステルダムに滞在してオランダの名所を数カ所観光しました。気候は8月ですがとても涼しく快適で、日中は薄い長袖が丁度良いくらいだと感じました。観光ではアムステルダム、ユトレヒト、ザーンセスカンスに行きました。天気が変わりやすく、時々雨が降ってくるのが何回かありました。アムステルダム滞在中は自由に観光をしてオランダの雰囲気や特徴、歴史等を学ぶという感じでした。

CuriousU では授業はそれぞれが取ったコースに分かれて行われました。僕は授業で Robot Interaction Design Experience (以下 RIDE と略します)を受講したので授業についてはこのコースのことについて書いていきます。

RIDE では初日にグループで Social Robot についてのディスカッションをしてグループごとの発表をしました。2日目と3日目は Arduino を使ったプログラミングをします。ここでは先生から与えられたロボット(Arduino Uno, Arduino robot, Tinkerkit 等)を動かすコードをグループで書いていきます。プログラムの見本はあるのでそれを書き換えたり組み合わせたりしていきます。これらのロボットを使ってライントレースや、時間内にどれだけのものをつかんで指定の場所に移動させられるかなどのコンペティションもあって、グループの子と協力せざるを得ないので仲良くなれます。そしてとても楽しいです。コードは C++ で書かれているようなので、C や C++ についての基礎的な知識があるとより理解しやすかったと思います。もし全くこれらの知識がないなら少しでも勉強をしていった方がより楽しめると思います。

4日目からはそれぞれのグループに分かれて、用意されているモジュールと Arduino を用いて Interactive なオリジナルなロボットを作っていきます。各グループはおよそ6人くらいで1グループでした。使用するモジュールによっては python の知識もあると役に立つと思います。また、4日目と5日目にはオプションで theater というものがありました。これは、演



劇でロボットと人間の Interaction を演じることで Interactive なロボットについての理解を深めることを目的としていた。演者はやりたい人だけがやり、4 日目と 5 日目に数時間のレッスンがあり、5 日目に実際に他の RIDE の受講者の前でステージ上で演劇をしました。4 日目からは同時並行でグループでのオリジナルなロボットを作り、その様子やロボットについての説明をするための動画の編集などもしました。最終日にはグループで作成したロボットについての発表をしました。また、ラボツアーもあり、主にロボット関係の研究室を見学しました。さらに、CuriousU では毎日様々なイベントが行われていて暇な時間などはほぼなく、とても楽しく過ごせました。

### 3. 生活（住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど）

アムステルダムではホテル滞在なので快適に宿泊をすることができた。スーパーもそこそこ近くにあって、特に不便に思うことはなかったと思う。朝ご飯のバイキングは豪華でおいしくて大満足でした。CuriousU ではテント滞在だったので生活はそこそこきついと感じることもありました。特に夜は思っていたよりは寒かったので注意した方が良さそうです。テントの中も寝るためのエアマットと寝袋と開いたスーツケースでほぼ全てのスペースを使っていました。天気が変わりやすく雨が急に降ってきたりしたのでテントの中が少し湿っぽくなってしまったりしました。シャワーは大学のスポーツセンターのものを使いましたが、温度はぬるめで水量、水温ともに変えることはできませんでした。日々の生活を考えると個人的には靴だけでなく、クロックスやサンダル（スリッパ）などが必須だと思います。また、コンセントは大テントやロッカーの中、日々の授業で使う教室のものなどを使用していました。大学内には Wi-Fi も通っていたのでネット環境にもそんなに不便は感じませんでした。食生活は、毎日ほとんど同じメニュー（パン、ハム、チーズ、トマトなど）とその他少しの日々変わるメニューくらいなので正直、飽きてきていました。飲み物は紅茶とコーヒーと水がありました。学校内では、金銭はお土産を買うときや有料の飲み物を買うときなどにしか使わなかったため、ほぼ最低限のお金を持ち歩く以外はロッカーにしまっておきました。持っていてよかったものは携帯枕です。やはり夜に毎日テントで寝袋を使って寝るのは少しきつかったためです。携帯枕は飛行機内で寝るときにも役に立つので研修中、ほぼ毎晩お世話になっていました。最後にテントに滞在するメリットを書いておくと、メインの大テントに近いことと金額が安いということだと思います。

### 4. 危機管理（身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど）

今回の研修では特に危険だと感じる場面には遭遇しませんでした。観光地を歩くときやレストランで食事をするときなどはスリ等に関する注意を多少は払っていましたが、トウエンテ大学に滞在中は大学内なので安全な雰囲気だと感じましたが、自分のものを放置してどこかに行かない程度の注意は必要だと思います。また、実際にロッカーに入れただけで鍵を閉め忘れて放置されている PC などがあったので、ロッカーを使うときにはしっかりロックできているか確認して使うべきだと思います。テントは鍵がついているわけではないので本当に大切なもの（パスポート等）はロッカーに入れるか持ち歩くかをした方がいいと感じました。

## 5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

留学をおえて、英語に対しても、自分の専門分野に対しても勉強する意欲が高まりました。また、外国人の学生とも仲良くなることができ実際に英語でしゃべらざるを得ない状況をたくさん経験できたことで自信もつけることができました。さらに授業でのオプションの活動や日々のイベントに積極的に参加することでより積極的に行動していくことの重要性を実感できました。今回の研修を経たことで確実に自分を高めることができたと言え自信を持って言えるような2週間を過ごせたと感じています。これからも色々な挑戦を続けていきたいと思っています。

留学を考えている学生へのメッセージとしては、2週間のコースだけでも得るものはとても多いと思うので興味があるのならぜひ積極的に挑戦して、とても充実した時間を過ごしてほしいです。

## 6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	290,000 円	研修費用
海外旅行保険		
授業料 (教材費含)		
滞在費 (寮費など)		
食費		
交通費	5,000 円	Free day と 最終日の観光・空港への交通費
その他 (小遣い、通信費など)	45,000 円	お土産、観光、遊び、洗濯、sim カード、など
計	340,000 円	

自由記述欄 \*現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。



← アムステルダム観光

水路が縦横無尽に張り巡らされている街、アムステルダムを観光しました。

クルーズ船に乗っての観光は気持ちよかったです。

CuriousU の期間過ごしたテントから →

狭くて寒くて少しつらかったですが良い思い出です。お向かいの外国人の学生とも仲良くなれました。



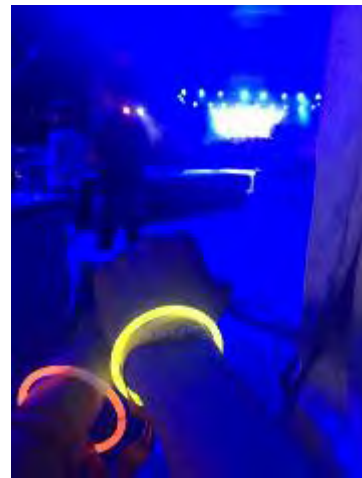


← グループでのオリジナルロボットの製作

グループのみんなで協力して作業をしていました。試行錯誤もたくさんして、机の上は結構ぐちゃぐちゃです。

Festival (Music night) がはじまる直前の写真 →

毎日何らかのイベントが開かれていました。この写真は Music Night の時の写真です。夜遅くまで踊っている人もたくさんいました。毎日、様々なイベントを楽しむことができました。



← Free day にドイツのミュンスターに行きました。

トゥエンテ大学からドイツ国境は近くて電車ですぐ行けました。写真はミュンスターの教会で、厳かな雰囲気でした。仲良くなった外国人の学生と一緒に小旅行ができたのは良い思い出になりました。

一緒のコースを取った学生との集合写真 →

Farewell Ceremony で取った写真です。この写真からも CuriousU で充実した時間を過ごせたことが伝わると思います。



# 短期研修報告書

記入 | 2019年 9月

所属 & 学年 | 教育学部 4年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

## 1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

学生生活最後の夏休みということで、最後に学生でしかできない体験をしたいと思った。英語を使うという日本と異なる環境下におくことで、現状の自分に満足することなく、常に自分の可能性の最大化を目指すという挑戦意識を高めることができるという意味で、後の人生の過ごし方のヒントになると思った。将来はよりグローバルな視点を持ち活躍できるように、異なる価値観や考え方に触れることで、より自分の可能性を広げたいと思い、今回の海外研修を志望した。このプログラムを志望した理由としては、自分の専門科目を様々な観点から学ぶことができると思ったからである。また、テント生活をするのは初めての体験なので、研修内容にワクワクしたからの理由の一つである。語学対策としては、もともと持っていた TOEIC のリスニング対策用の CD を聞いたり、日常のことを頭の中で英語に変換してみるなどは行ったが、特に特別なことはしなかった。

## 2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

8/8 にアムステルダムのホテルに到着、8/9 にユトレヒト・ザーンセスカンス観光、8/10 にアムステルダムにおいて自由行動を行った。限られた時間で、できる限り情報を集めながら、自分たちで効率よく計画を立てていくこと、急なトラブルなどにどう対処するか臨機応変に対応することの大切さを学んだ。8/11 から Curious U のプログラム自体は始まるのだが、初日は授業がなく、キャンパスの案内や同じ授業を受講する学生との交流会などがあった。Curious U では、基本的にビッグテントをメイン会場として、ご飯を食べたり、毎日何かしら様々なイベントが開かれたりするため、とても充実した一週間を過ごすことができた。ビッグテントから授業棟までは距離があったが、時間を気にすることなく、学生たちは皆マイペースに行動しているような印象だった。Curious U のプログラムの授業としては受講生約 25 人程度の Health & Happiness という心理学に関連した授業を受講していた。授業の時間としては午前 9:30~12:30、午後 14:00~17:00 という長時間の授業であったが、講義はオムニバス形式であり、施設見学やグループワークなどがあったため、アクティブラーニングに近い形式で、あっという間に過ぎる印象。基本的に 1 グループ 4 人のグループで座り、講師の話すトピックに対して議論する感じであった。授業の難易度としては、やや難。様々な分野の心理学の内容がまとめられている感じで、専門知識や内容が多かったため、予備知識が多少手助けになった。また、途中意見を求められることがあったが、その分野に精通する学生も多く、多くはネイティブの学生が発言しており、他の学生のレベルも高い。クラス名とは皆親切であり、自分のつたない英語であっても理解してくれようとしていたり、課題の内容が理解できなかった時でも、丁寧に簡単な言葉で言い換えてくれて、親切心に感謝した。途中、コーヒブレイクという休憩時間があり、そこで他のコースの学生とも交流が可能だっ



た。私たちのコースは、他のコースでの共同授業もあり、最終日には、他コースと共同で、1チーム5人全8チームで、約3日間にわたるプロジェクト制作に取り組んだ。“トウエンテ大学における健康的な介入を提案する”というテーマであった。自分の意見を正確に伝えたり、相手の意見を理解するのは大変だったが、国籍の異なるメンバーと一つのものを全員で作り上げることができたという国際的協力を経験できた貴重な体験だった。

### 3. 生活（住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど）

Curious U では、テント生活をしていた。実際、かなり大変であったが、他ではできない体験をすることができ今思うと貴重な体験だった。オランダは天候が変わりやすく、急にスコールが起こることが時々あり、テントの中に水が浸入し、寝袋が濡れてしまい、寒くて眠れないことが何度かあった。自然と朝早く目が覚めるため、早起きはできるが、夜は楽しみ過ぎるあまり夜更かしをしてしまうことが何度かあったため、自己コントロールが必要。また、豪雨の予報を考慮し、テントから、体育館に荷物を全部運んだこともあり、かなり大変だった。夜だけでなく、昼間であっても、かなり冷え込む日もあるので、カーディガンはもちろん、トレーナーやパーカーなどの防寒具や雨具は必ず持っていくべき。（私は事前情報が足りず、寒い思いをしたので）また、テントの鍵はついていないため、南京錠が必要であると思われる場合は持っていくのもよいと思うが、スーツケースの鍵をかけていればまず安全である。

食に関してはバイキング形式で、朝、昼、夜毎日同じパンとサンドイッチがでるため、飽きは感じられるが、2.3品異なるメニューも出てくる。その他、アイスクリームやパンケーキなどのスイーツもあるため、楽しみは自分の心の中で作ることができる。ライスもあるが日本のはかなり異なる。

シャワーはテントから離れたジムにあるのだが、共同のシャワーは混んでいないのでこちらをオススメする。また、夜のイベントや交流を楽しむために、授業後（17時から18時）に行くのが良い。ジムが大体22時くらいなので、ミュージックナイトなど午前2時までのイベントがある時は、朝浴びていた。（朝は6:30から）しかし、夕食が18時から20時のため、授業後にシャワーに行った後、夕食を食べに行くと、全ての種類の食材がなかったということがあり、ほとんど食べるできないということが1度あった。念のための食材を事前に購入しておくとう便利。

アムステルダム観光の時は、クレジットカード一枚と現金を持って行ったが、現金はそれほど持ち歩かず、スーツケースの中に鍵をかけて保管していた。お酒を飲む場合を除き、大学内でお金を使うことはほぼない。使うといっても大学内にあるCOOPかグッズショップくらいなので、大金は持ち歩かず、スーツケースに鍵をかけて保管しておいた。プログラム自体はお金を使わずに楽しめるイベントや遊びが満載なので、かなり満足した。

アムステルダムなど街に出る時はWi-fiがないと不便。学内にWi-fiはあるが、接続が悪く必要な時に使えないと困るため、モバイルWi-fiを持っていくのをおすすめする。

また、洗濯に関しては、大学側で行ってくれるが、物一つにつきいくらという計算なので高くつくように感じた。たまたま日本から2週間分のものを持っていたため、助かった。

#### 4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

アムステルダム滞在を含め、全体のプログラムを通して、身の危険を感じたことはなかった。アムステルダムはかなり自転車の走行数が多く、車道と歩道が分かれているが危険である。道路を横断するときなど左右、前後の確認は必ずするようにしていた。人通りの多い箇所やレストランなどに行くときは、荷物は手の届く範囲に必ず置くように心がけた。

また、Curious U のイベントとしてのミュージックナイトや大学内のバーでのセレモニーパーティーなどの 12 時を過ぎるイベントやお酒を飲む場では、必ず一人では残らないようにし、複数人での行動を心がけた。バーに行くと、日本人だからか、友好的なサインなのか判断ができなかったが、わりとからまれやすいので、注意が必要。フリーデーもあったが、基本的に単独行動はしないようにした。

#### 5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

今回の研修は自分にとって一番得られたものが大きかった研修であると感じた。まず一つ目に、自分の英語のなさを痛感した。学部 1 年の時に留学経験があるが、英語学習は継続が必要である。自分の頭の中では、言いたいことが思い浮かんでも、それをアウトプットできない悔しさを常に感じたのだが、それを理解してくれようとする現地の人々の優しさも感じた。どんなにつたない英語であっても、まず自分の意見や思いを伝えてみる姿勢や態度、勇気は持つべきであると感じた。

二つ目に、このプログラムを通じて、アジア圏以外の友達がたくさんできた。ただ、それは自分で機会を作らないと得られないものである。大多数は外国国籍の学生なので、日本人と常に一緒にいるのはかなりもったいないし、毎日違う出会いがあるため新鮮である。例えば、食堂で隣になった人に話しかけてみる、ゲームやアクティビティに突っ込んでみるなど自分から行動しないと得られないものだった。海外では、Facebook や WhatsApp などを利用しているため、アカウントを作っておくのがおすすめ。

三つ目に、自ら有意義な経験を作っていくこと。海外では日本では体験できないイベントや出来事がたくさんある。それは後の自分の人生に影響してくるものであるし、価値観を形成するものである。やりたいことやしてみたいことをまずやってみること、それを思いっきり楽しむことは大切なことであることを学んだ。自分の意思決定に責任を持つことで、経験は必ず意味のあるものになる。私は学部 4 年生であるが、あと半年の学生生活を思うと、今までの学生生活で「あの時こうしていればよかったかな」と思うことがある一方、これからの生活をどう有意義にしていけるか真剣に考えるきっかけにもなった。異なる価値観に触れる大切さ、偏見や先入観を持たない寛大な心、物事を多角的に見る視点、行動してみる勇気など人間的にも成長できる。経済的な負担はあるかもしれないが、海外研修は価値のあるものなので、是非挑戦してほしい。

#### 6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	215,450円	
授業料(教材費含)		
滞在費(ホテル宿泊費など)		
海外旅行保険	13,270円	

食費	10,000円	アムステルダム滞在中のみ
交通費	5,000円	
その他（小遣い、通信費など）	7,000円	
計	313,720円	

自由記述欄 \*現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

- ・Curious U のビッグテントで開かれていた3Dプリンターを作ってもらっているときの形どり。  
5分間この状態で待機。なんとシニールな光景であった。



- Curious U のビックテント内で世界地図の上での撮影。  
立っているのはオランダ！





## 短期研修報告書

記入 | 2019年 9月  
所属 & 学年 | 工学部 3年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

### 1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

自分の興味のあるコースが CuriousU で開講されていたというのが一番大きな理由です。また、他のプログラムとは異なり、世界中から様々な学生が集まって交流するという国際的なスタイルがいいというのがあります。毎日夕方に何かイベントがあるので、たくさん交流できるのもいいところです。また、オランダに行ったことがなかったので、オランダに行ってみたいというのも動機の一つです。

出発までは、事前にメールが来て、そこで指示された Precourse Activity を勉強しました。コースによってあったり、なかったりするみたいです。また、オランダの観光地なども調べておいたので、帰りの飛行機の出発までの長い時間も楽しく過ごせました。

### 2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

アムステルダム滞在では科学館と美術館に行きました。アムステルダムのトラムの一日乗り放題券を買ったので快適に移動できます。Google Maps と連動しているのでトラムが早かったり遅かったりしているのをスマホでみられるので便利でした。また、アムステルダム中央駅の前に船に乗れるところがあるので、それも体験しました。

履修したコースは“GIS & EARTH OBSERVATION: THE ESSENTIAL PERSPECTIVE FOR PROJECTS” という授業で Geographical Information System と Remote Sensing の基本的なことを勉強するというコースです。午前中は基本的に座学で、先生が用意したスライドを見て質問があれば、質問するという形式で、先生もみんなが分かっているか確認のため、あててきます。本質的な質問なので、授業はしっかり聞いておきましょう。午後は実習形式で、PDF かプリントをもらって各自黙々とプリントの課題を進めるという形式で、先生も 10 - 15 分おきに答えを解説してくれます。パソコン上のソフトウェアを使って様々な操作をするので、マウスがあると早いです。先生たちもマウスを貸してくれるので、忘れても大丈夫です。となりに座っている友達とも議論できるので、分からなくなったらすぐに聞きましょう。友達もわかっていないときはすぐに先生に聞きましょう。クラスにはコースに関連する専攻の修士の友達がいたので、初心者への僕はいろいろ教えてもらいました。絶対に時間内に終わる量の課題ではないので、時間内に全部できなくても大丈夫です。ただ、先生が解説したところまでは、最低限できたほうがいいです。一応、初心者向けコースというように Web ページには書いてありますが、クラスでは名大から来た二人以外、専攻がコースに関連していたので、進むスピードは速いし、みんな理解が深く、ついていくのは大変でした。使っている教材もよく見ると for Master Program と書いてあるので、レベルは高いと思います。クラスの皆さんはパソコンがなかなか得意だったので、パソコンが苦手な方は得意になっておいたほうがいいと思います。午前中の座学のスライドには膨大な情報が入っていて、それ

をすぐに午後の実習で実践するという形式なので、しっかり聞いておかないと午後の実習が苦しいです。たまに、JAXA のプロジェクトが NASA や ESA のプロジェクトと比較されながら紹介されてちょっとした質問をうけました。このような基本的な学習が 5 日間続きます。残りの 2 日間のうち 1 日目は、屋外での実習で、二人一組でスマホのアプリを使って実践的な経験が積めます。ただ、ちょうど雨が降っていたので、あまり長い時間活動できなかったことが残念です。最終日はクラス全員で、先生方が普段活動している研究所に見学に行きます。テントからバスで 10 分くらいのところにあります。施設を見学したり、研究員の方にお話を聞いたりします。昼食の後は、研究所の説明を受けました。修士や博士課程に興味のある人はいろいろ質問していました。その後、インターネット上の共同プロジェクトへの参加方法を教えてもらい、実際にプロジェクトに参加してみるという活動があります。

### 3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

アムステルダムでは店員さんなど町の人と英語で会話できるので快適です。ホテルから少し歩くとスーパーマーケットのような施設があるので、特に不自由なことはなかったです。CuriousU では、思ったよりもかなり寒いので、T シャツをたくさん持ってきたことを後悔しました。特にテントで迎える朝は本当に寒くて目が覚めるので、授業に遅刻しそうになったことがなかったです。また、雨が本当に多くて大変でした。雨の音で起きたこともあります。洗濯は有料で 10 時までに出さないと翌日受け取れないという不便なシステムでしたが、乾いた状態で届きます。テントの中に空気で膨らませて使うベッドがあるのですが、僕は毎日つぶれてしまったので、毎日膨らませるためのポンプを使ったり、自分で膨らませたりしていましたが、最終日にいつも通り電動ポンプを貸してもらいに行くと、僕のことを覚えてくれていて、代わりにベッドをもらいました。もっと早く言っておけばよかったと後悔しました。また、スポーツセンターでシャワーが使えるのですが、平日は 11 時までなので、計画的に行動することを心がけていました。また、授業でよくわからないところは夕食後の空いている時間に教えてもらったりしました。毎晩何かイベントがあって、とても楽しいです。でも、次の日の朝が早いときは早めに切り上げて、寝不足にならないようにしました。

### 4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

CuriousU ではパスポートや 2 つ目の財布、パソコンはロックできるロッカーに入れて保存しました。このロッカーの使い方を覚えるのに時間がかかりました。大学以外のところは全体的にタバコを吸う人が多いので、煙たいことが度々ありました。電車に乗って改札を出れなくなったときは、駅員さんに助けを求めました。とても優しく対応してもらえてよかったです。

### 5. 留学を終えて感じること & 留学を考えている学生へのメッセージ

初めてのテント生活でしたが、なんとかやり切って達成感があります。授業でも思った以上に深いところまで、教えてもらったので大満足です。自分の専攻がすこし重なる部分があって、それがとても興味深いことが分かったので、その方向に進むのも選択肢の一つだと思いました。また、仲良くなった友達ができただけでなく、ヨーロッパに行く機会があれば訪ねたいと思います。英語を勉強するきっかけになります。テントで暮らして授業を受けるという珍しい体験をしたい人や、単純にコースの内容に興味がある人、フェスティバルに参加したいと

いう人は Curious U で留学するのがおすすめです。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	230,000 円	
海外旅行保険		
授業料 (教材費含)	70,000 円	
滞在費 (寮費など)		
食費	50,000 円	
交通費		
その他 (小遣い、通信費など)		
計	350,000 円	

自由記述欄 \* 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓



←Google Earth から見た CuriousU の会場の様子。左上に見えるのがテントで、右上の青いテントがメインテントです。

アムステルダム科学博物館にあるダムを作るコーナー。  
さすがダムの都市ですね。→



←リンゴを食べている人が多かったのが僕も公園で食べてみました。美味しかったです。

# 短期研修報告書

記入 | 2019年 9月

所属 & 学年 | 工学部 3年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

## 1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

僕は、英語を学ぶのではなく、英語で何かを学ぶという海外研修にこの夏に参加したいと思っており、このプログラムを選択しました。事前授業では、英語でコミュニケーションをとることができるように心がけ、できる限り英語で会話するように努めました。

## 2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

アムステルダムは運河の街で、景観が非常にきれいでした。また、ユトレヒトやザーンセスカンスなど、オランダの文化を学べる機会もあり、とてもよい経験となりました。

CuriousUでは、外国人(特に欧米人)の英語力の高さに常に驚かされました。日常の会話はほぼ問題なくできたように思いますが、授業中の学問分野についてのディスカッションや発言はかなりレベルが高いもので、なかなかついていくのが大変でした。

僕が選択したコースは Technology and Society というコースでオムニバス形式で教授が毎回変わり、講義形式の授業を受けながら好きなときに授業についての質問をするというものでした。日本人は自分から率先して発言・質問するという形式に慣れていないため、なかなか質問することができませんでした。また、教授の英語のスピードもかなり速いので、かなりリスニング力がないとついていくのすら大変でした。

授業の内容としては、哲学や倫理学など、ほとんど文系の内容でした。テクノロジーを文系的な考え方から捉えよう、といった感じの内容のもので、難しい理系知識は全く必要なく、むしろ文系学生が受講した方が面白いものだろうなと思いました。

Certificate をもらうための課題としては A4 で 2 枚程度のレポートを提出するだけなので、そんなに重労働ではありませんでした。

## 3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

アムステルダムの8月は、日本より少し涼しいなあという感じでした。ホテル滞在だったというのもありますが、半そでに長袖の上着が1枚あれば十分という感じだと思います。

トウェンテ大学に行ってから、朝と夜中はかなり寒かったです。テントでの滞在でしたが、薄着で寝ると夜中に何度も起きてしまうくらいです。寝るとき用の服としては、真冬くらいの物を持って行ってよかったかもしれません。

大学のシャワーの設備は非常に悪いです。温度調節できない、ノズルが固定されている、脱衣所は濡れている、など、日本のシャワーと同じ感覚ではない方がよいと思います。

しかし、それ以外の点に関しては、とても満足できるプログラムだったと思います。

## 4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)



まず、オランダは大麻が合法なので誘われることがよくありますが（実際にクラスメイトに誘われました）、絶対に断るといことです。

あとは、テント内に貴重品を置いて外に出るときはナンバー式のロックを必ず掛けるようにしていました。

#### 5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

こんなに多くの欧米の学生と一度に関われる機会は滅多にないと思います。絶対に良い経験になります。ぜひ参加した方が良いです。

#### 6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
プログラム費用(旅行代金)	215,450円	提示されます。
海外旅行保険	11,910円	推奨されているものにしました
授業料(教材費含)	約80,000円	CuriousUの参加費用のみ。
現地で使った費用(総額)	約70,000円	
計	約380,000円	

自由記述欄 \*現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

自身にとって、一番ユニークだったと思える滞在中の写真を複数枚添付して、そのストーリーを記述してください。これが一番次の学生にとって、良いアピールになります。



←東京駅のモデルになったと言われるアムステルダム中央駅です。本当にモデルか？と思うくらい東京駅よりも大きかったです。



←フリーデイにドイツに行ったときの写真です。奥に写っているのがケルン大聖堂です。中のステンドグラスはきれいでした。この川はライン川です。

# 短期研修報告書

記入 | 2019年 9月  
所属 & 学年 | 工学部 3年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウエンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

## 1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

長期の交換留学に興味があり、その疑似体験ができると思い申し込みました。他のプログラムに比べて費用が安く、またヨーロッパの魅力に惹かれたのでこのプログラムを選びました。事前学習では簡単な英語のプレゼンを2回やりました。

## 2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

Academic English では主に論文の書き方や効果的なプレゼンの方法を学びました。基本的に先生の話聞き、配られた文章や文法問題を解き、グループで相談する形で進んでいきました。課題は自分で決めたトピックについて20分間のプレゼンを作ることでしたが、思ったより手間がかかり授業外でも時間を見つけ課題に取り組みました。

## 3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

テントに10日間滞在しましたが、スペースが狭く、気温も低かったため、辛かったです。ご飯は朝食、昼食は毎日固定で食パン、夕食は日によって異なり郷土料理風なものが食べられたので満足です。運動施設がとても充実していたので、運動できる服装(室内シューズ、水着など)を持っていくとより一層楽しめると思います。

## 4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

パスポートや財布などの貴重品をテントに置きっぱなしにしていたので、危機管理は十分にできていません。危険を感じることは特にありませんでした。

## 5. 留学を終えて感じること & 留学を考えている学生へのメッセージ

もっと英語が話せたらなと思う場面が多数あったので、これからの語学学習を頑張ります。交換留学に行きたい気持ちがより一層強まりました。

## 6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃 & ビザ申請料	約15万円	アムステルダムでのホテル代、バス代、ご飯代も含まれます。
海外旅行保険	約2万円	一番安いものを選びました。
授業料 (教材費含)	約7万円	
滞在費 (寮費など)	円	

食費	円	
交通費	円	
その他（小遣い、通信費など）	約3万円	
計	27万円	

自由記述欄 \*現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

最終日に大学の近くのボーリングへ行きました。日本よりレーンがだいぶ長く、難しかったです。  
靴をレンタルするなどシステムは一緒でした。

# 短期研修報告書

記入 | 2019年 9月

所属&学年 | 医学部 3年生

留学先大学（国名）	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・Curious U
留学した期間	2019年8月8日-21日

## 1. 留学前の準備（応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など）

応募した動機は他のプログラムと異なり、一度に多国籍の人たちと出会うことができるからです。オランダの大学で毎年行われている現地大学が主催のサマープログラムに参加することなので他のどのプログラムよりも多くの交流が望めると考えました。また、海外の一般的なサマープログラムがどのようなものなのか興味があり、プログラム中は1週間テント泊ができるということにも魅力を感じました。

出発まではリスニング能力や日常会話でのフレーズを知ろうと思い、youtubeの動画（英語で字幕が英語と日本語のもの）を見ていました。

事前授業ではこの留学に参加する日本人同士の交流のため自己紹介を兼ねたゲームをしたり、自己紹介のプレゼン・自分が選択した授業分野紹介のプレゼンをしたりしました。自己紹介で作成した内容は現地での自己紹介時に役立ちましたし、授業分野に関しては改めて自分が学ぼうとしている内容についての理解を深めることができました。

## 2. 研修内容や学校（内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など）

アムステルダム滞在中、1日目はザーンセスカンズ（風車が有名）とユトレヒト（ミッフィーの作者生誕の地）に観光に行き、お昼はオランダの伝統料理を食べました。

2日目は、アムステルダム市内を自由に観光しました。私たちはサイクリングをしながら事前に調べてあったお土産屋さんや有名なパンケーキ屋さん、花市場、ダム広場・宮殿、アンネフランクの家などを巡りました。

CuriousUに参加してからは毎日がイベントの連続で刺激にあふれていました。毎日、昼と夜にそれぞれ異なるイベントが用意され、それに参加する人は受付をして参加しました。VRを用いたアトラクションなど日本ではあまりできないような体験を多く経験しました。

授業は「Health and Happiness」を受講しました。教室に6つほどの机があり、それぞれに3～4つの椅子があって毎回自由な場所に座って授業を受けました。授業中に発言したりグループ内で話し合うことが多かったです。しかし、どれも自主性が求められ、必ず発言しなければならないという訳ではありませんでした。グループワークは大きなものでは精神分野の看護アセスメントのようなものを行いました。日本のものとは少し異なると感じました。プレゼンは他のコースと合同で行い、1回目はグループごとにテーマに沿った車をデザインしました。2回目はグループごとに学んだことを共有して、その中で取り上げたいトピックを決め、そのことに関して意見を出し合い、改善策を練って行くというものでした。こちらは数日間かけて準備し、プレゼン用スライド・デザインした模型を用意して発表しました。

### 3. 生活（住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど）

アムステルダム滞在時はホテル泊でした。建物内、部屋全体的にとても綺麗なところで、さらに朝食のビュッフェが豪華で毎日幸せでした。1日では全て食べきれず2、3日かけてやっと食べきれるほどでした。初日に来室してすぐ電気が付かなかったので、フロントに伝えたところすぐに係りの人が来てくれて対処してくれました。結局、カードの差し込みが甘かっただけだったのですが、嫌な顔せず最後まで対応してくれたのでとても良かったです。部屋にはドライヤーとセーフティボックス、ハンガー、バスタオル、タオル、フェイスソープ、シャンプー、湯沸かし器、コップ、ティーパック、コーヒーマーカーなどがありました。立地は2つの大きな公園が近くにあったり、アムステルダム市内へ行けるトラムの駅が近くにありするので利便性なども良かったです。ガイドさんのお話では子供向けのアトラクションがあり子供が多くいる公園とゆったりした雰囲気でも大人の利用者が多い公園とタイプが分かれているようで、どちらも魅力的でした。健康管理に関しては睡眠時間の確保に努めました。金銭管理はセーフティボックスを活用して必要以上に持ち歩かないようにしていました。CuriousU 滞在時はテント泊でした。100均のもので十分なのでテントにつける鍵があると良いと思います。また、シャワーを浴びに行く時などに履けるサンダルなども持って行ったら楽でした。洗濯は頼むこともできますがとても高額だったのでほとんど手洗いしていました。ハンガーなどはもちろんですが旅行用の洗濯キットなどを持って行くと良いと思います。他には、夜も冷え込みますが朝の冷え込みが尋常ではないのでトレーナーや厚めの上着を持って行った方が良いと思います。ほとんどの人が現地で裏起毛のトレーナーを買っていました。初日は夜中に寒くて3回は起きました。途中でブランケットが配布されたのでだいぶ楽にはなりました。貴重品はメインテントのロッカーに入れることができます。結構しっかりしていたので信用できると思います。中には充電できる場所があるものもあり、便利でした。しかし、メインテントは23:00~7:00頃まで閉まっているので、取り忘れには注意です。雨が降ってもすぐに止むことが多く、傘を持ち歩くのが面倒なことも多いので撥水加工のある上着などがあると便利です。できるならカバンも同様の加工、またはカバーがあると安心です。日本のお菓子は持って行くと珍しがって喜ばれました。

### 4. 危機管理（身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど）

観光中や移動時だけでなく、プログラム参加中も貴重品はリュックとは別の小さいカバンに入れ、常に体の前に下げていました。リュックはファスナーにダイアル式の鍵をかけ、簡単には開けないようにしていました。また、アムステルダム市内や駅などの人混みや治安のよくないところではカバンを肩にかけた上から上着を着ました。さらに人口密度の高いところを通る時などは上着のファスナーも閉めて、カバンが外から見えないようにしていました。テント泊の間はテントの出入り口のファスナーにダイアル式の鍵をかけていました。

### 5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

留学中に感じたことは、英語での日常会話に関して、まず相手の行っていることを聞き取れなければ返事することすらできないということでした。よく「英語が話せない」と言いますが日常会話においては聞き取るの方が大切だと感じました。話す方は上手く話せなかったとしてもアイコンタクトやボディランゲージなどを用いることで伝えることができ、言葉が全てではないと実感しました。また、グループワークなどを通して感じたことは伝えることの大切さです。考えていることは全て言葉にしないと伝わらないし、わからなかったら分からないということを伝えることも大切なんだと感じました。特に相手の考えなどは聞き直すことでわかりやすく説明しなおしてくれますし、それによって理解できてからきちんと反応した方が相手にも好印象だと思いました。他には、日本との考え方の違いです。グループワークなどを通して海外の人、特にヨーロッパ圏の人たちは想像力が豊かだと感じました。またそれに伴い授業スタイル、授業で求められているものどれもが日本と異なるのだと気づきました。日本では、グループワークをしても設定や条件が細かく決められ狭い範囲で考える必要があったり、求められていることを察してそれに沿うような内容にしようしたりします。しかし、現地のグループワークでは条件などが少なく概念だけ与えられてほとんど一から考えるものが多かったです。そのため、



色々なアイデアが出てとても面白いと感じました。しかし、ここでとても驚いたのですが、このような自由に考えて創造するという作業に慣れていなかったためか私はアイデアをあまり出すことができず、自由が良いと感じているはずなのにもっと条件を出して考える範囲を絞って欲しいと思ってしまいました。私や他の日本人の子たちに比べて海外の人たちは次々とアイデアを出していたので育った環境の違いを感じました。今回の経験を通して、日本の教育に少し興味を持つようになりました。

#### 6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料 滞在費 (ホテル費など) 食費 (ホテルの朝食) 移動費 (全体での移動時)	215450 円	
サマープログラム参加費 (滞在費・食費・授業料含)	約 75000 円 (=€600)	サマープログラム期間中はテント泊を選択したため、追加料金はありません
食費・交通費・その他 (小遣い、通信費など)	約 50000 円	観光中の食費・交通費・お土産代など (フリーデイにドイツに行ったため交通費が少し高いと思います)
海外旅行保険	13890 円	
計	約 354340 円	

自由記述欄 \*現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓



↑アムステルダム市内のマーケット近くで発見。

サイクリング中に見つけた大量の日本語たち。歩道の壁に不意に現れます。ツッコミどころが多すぎてはや何も言えません。言葉の選択がおかしくて毎回立ち止まって見ていました。



↑アムステルダム市内、有名な教会近くで発見。

浮世絵的な描写にポテトがコラボです。扇や煙管じゃなくてポテトなんだと突っ込みながら写真を撮るパシヤリ。

写真はありますが、フリーデイでドイツに行った際にマーケットでアクセサリーを見ていたら大仏様の御顔が入ったアクセサリーがたくさん売っていました。他にも至る所で大仏様を見つけました。日本よりも大仏様遭遇率が高かったです。しかし、身につけている人は見かけなかったもので、人気なのか気になるところです。

# 短期研修報告書

記入 | 2019年 9月  
所属 & 学年 | 教育学部 3年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

## 1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

一年間の交換留学を考えていて、面談の際に先生にすすめていただいたのがきっかけ。他のプログラムと比べて、世界各国からの学生との交流やたくさんのイベント、テントに泊まるなどの体験が魅力的だと感じたからこれを選択した。出発までは毎週外国人の友達に電話で英会話をしてもらったり、会話に使えるフレーズや表現が載っている本を読んだりした。

## 2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

CuriousUでは、English for Academic Purposes という授業をひとコマ90分で1日に4コマ受けた。内容は座って先生の授業を聞いたり問題を解いて周りの学生と答え合わせをしたりと、日本で受ける英語の授業とあまり変わらない印象だった。授業の後半は1人20分のプレゼンテーションをした。毎日昼や夜にイベントがあったので、そこで違うクラスの学生とも仲良くなることができた。

## 3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

- ・思ったより寒く、半袖の服と薄いパーカーしか持っていなかったのが辛かった。日によるが、長袖の服を絶対持っていくべき。朝晩はテントだと特に寒いのでヒートテックがあるといいと思った。
- ・コンセントが限られているので、いくつか挿せる電源タップを持参するとよい。
- ・ランドリーサービスがあるが、ものすごく高いので私は洗剤を持参して手洗いしテントの中に干した。

## 4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

パスポートとクレジットカードを入れたバッグはどこに行くときも持ち歩いた。アムステルダムでは後ろのポケットなどに大切なもの(スマートフォン、財布など)をいれないようにすること、テーブルの上に置かないように気を付けた。アムステルダムで人の少ない通りで5人くらいの男性に話しかけられて囲まれ、向こうに悪意はなかったのかもしれないが怖いと思って走って逃げた。

## 5. 留学を終えて感じること & 留学を考えている学生へのメッセージ

本当に参加してよかったと思います。私はあまり英語に自信がなく、授業についていけない、ほかの国の学生と英語で話せるのかなど不安はたくさんありました。実際に、初めの方は先生の英語がほとんど全く聞き取れない、また言いたいことがなかなか英語で表現できないなど悔しい思いもしました。しかし、日本人だけでなく他の国からの学生も授業や生活で困

っていると助けてくれたり、言葉が思うように通じない中でもコミュニケーションが取れて仲良くなれたりしたときの喜びはとても大きく、いい経験になったと思います。不安なことがあっても、迷っているならとりあえず参加してしまえば意外と何とかなると思うし、得られるものはとても大きいと思います。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	22万円	
海外旅行保険	1万円	
授業料（教材費含） 滞在費（寮費など）	6万円	
食費	円	
交通費	円	
その他（小遣い、通信費など）	円	
計	29万円	

自由記述欄 \*現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓



↑お昼の時間にかわいい車が停まっていて、その中で写真を撮ってもらえた。





↑フリーデーに台湾からの留学生たちとナショナルパークに行き、広い大自然の中をサイクリングしたり、鹿肉のステーキを食べたりした。土砂降りの雨で帰れなくなったり迷子になったりとハプニングが多かったがずっと笑っていてとっても思い出に残る1日でした！



↑ずっと大嫌いだったビールをバーベキューの時にギリシャ人の友達にすすめられて飲んだものすごくおいしかった！みんなで乾杯しておいしいお肉を食べながら飲むビール最高（笑）



# 短期研修報告書

記入 | 2019年 9月

所属 & 学年 | 法学部 3年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

## 1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

私がこの研修を選択した理由は2つあります。1つ目は留学等を検討するにあたり海外の大学で勉強するということの雰囲気を知りたかったから。2つ目は様々な価値観を持った人と交流してみたいからです。上記2つの目的を総合的に満たすのが本研修だと思い参加しました。

自主的な留学前の準備・勉強としては、6月の TOEIC 公開テストに申し込み、これに向けて勉強していくことで耳を慣らすよう努力していました。しかし話す練習をもっとしておけば良かったように思います。

## 2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

curiousU では Health&Happiness というコースを選択しました。このコースでは 20 数名で心理学の基礎的知識・実験を講義形式で学びました。講義形式といえど、1 講義につき 1 度はグループで交流する機会があったので英語で発言するスキルがあるとより楽しめると思います。分からない場合は「分からない」と発言して教授・クラスメイトに助けを求めても大丈夫な空気感だったのであまり心配しなくても大丈夫です！最終プレゼンは講義で習った心理学的知見を用いて、精神的な症状を改善する施設・装置をイメージし発表するというものでした。グループプレゼンだったので英語力は必須です。

### 3. 生活（住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど）

私はテント泊を選択しました。テント泊は慣れていけばそこまで苦ではないと思いますが、夜間は気温が一桁になる日もあったので防寒は必須です！

食事はほぼ毎食トーストです。

栄養面に難ありかも知れず肌荒れに悩んでいる人もいました。

### 4. 危機管理（身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど）

アムステルダムでは必ず鞆を前に持っていました。

町の夜は総じて危険だと思っておいた方が良くと思います。

### 5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

英語の勉強はどこまでしてもしすぎることはないと思います。

期末テストが終わった直後の研修参加になると思いますがコツコツ準備しておくのが吉！

他国の生活感や価値観を知れたりと得るものは本当に多い研修なのでぜひ万全の準備のもの参加し楽しんできてください！

### 6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	約16万円	
海外旅行保険	約2万円	
授業料（教材費含）	約7万円	
滞在費（寮費など）	上の料金に含まれる。	
食費	大学での朝昼晩は上の料金に含まれる。	外食する場合は名古屋でのご飯より少し高い値段をイメージしておくが良いと思います。
交通費	約5千円	
その他（小遣い、通信費など）	約3万円	
計	約36万円	アムステルダムでの滞在費も含む総費用

自由記述欄 \* 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

クレジットカードしか使えないお店が多いです。お気をつけて。



最終プレゼンに向けて議論中



街中で一般の人がふら  
っと



一人用  
ちょっと狭いよ  
寝苦しい  
夜は極寒  
防寒必須

# 短期研修報告書

記入 | 2019年 9月  
所属 & 学年 | 理学部 3年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

## 1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

英語を使った研修という点に魅力を感じて応募しました。オランダの公用語はオランダ語であることは気になりませんでした。事前授業では、CuriousU でとったコースに関するスピーチを英語で発表しました。そのほかの英語の勉強については特にやりませんでした。アムステルダムの自由行動のために交通手段などを調べておいたり、アンネフランクの家などの人気のあるミュージアムのチケットを予約しておきました。

## 2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

オランダに到着してから2日間は観光をしました。1日目は全員でバスガイドさんとともにザーンセスカンスとユトレヒト、2日目はホテルの部屋が同じ人とアムステルダム自由行動でした。CuriousU が始まってしまうと大学内にこもりっぱなしになってしまいますが、この二日間はオランダ観光を楽しめるのでとても楽しいです。アムステルダム観光は人によって違うところに行くので、思い出を共有出来るとより楽しいです。

4日目から CuriousU が始まりました。始まって二日間は、「外国人の学生と会話しなきゃ」という気持ちで常に緊張し、さらにテント生活でなかなかリラックスすることも出来ずとても長く感じました。さらに、大雨予報によりテントからスポーツセンターに避難したり、晩ご飯が足りなくなって急遽宅配ピザを頼んだり、ハプニングは続きましたが、ハプニングのおかげで、日本人同士もちろん、外国人とも協力し合うことができ、距離が縮まったように思います。テント生活は日本人にとっては想像以上にハードでしたが、テントだったからこそ友達も出来たし、毎朝毎晩より多くのコミュニケーションをとることが出来たのではないかな、と思います。始めはテントにしたことを後悔していましたが、今ではテントにして本当に良かったと思っています。

授業に関しては、たくさんのコースの中から自分の興味のある、とりたいコースを選択して授業を受けました。私は「English for academic purposes」という、日本人が一番多いコースをとっていました。この授業は大学の英語上級に近い授業で、文法の問題を解いたり、習った文法やプレゼンテーションの構成を使って一人20分のプレゼンテーションを行いました。クラスにいた日本人以外の学生(中国人、韓国人、ロシア人、イタリア人)の英語のレベルが高く、差を感じてとても焦りました。ただ、英語を話す機会がほかのコースに比べて少ない授業だったので、その点については物足りなさを感じました。先生は質問やプレゼンの内容の相談などしっかり乗ってくださるとも優しい先生でした。

CuriousU の目玉の1つとして、メインテントでは様々なイベントが行われていました。毎晩のようにゲームナイト、ムービーナイト、ミュージックナイトなどのイベントが開催されて、外国人の学生と会話したり、仲良くなることが出来ました。また、日本の文化との違いも同

時に感じられる瞬間でもありました。最も驚いたことは、外国人は音楽が流れればすぐに踊ることが出来るということです。最終日、大学内のバーで（大学内にバーがあることにも非常に驚きました）バーの中は音楽が流れていて、学生がダンスしていました。日本人の学生は踊ることになれていませんが、外国人の学生に誘われて中で一緒に踊っていて、とても不思議な気分になりましたが、外国人の学生は当たり前のように全員踊っていました。

ほかにも 10 日間のうち 1 日だけフリーデーが設定されていて、その日には仲良くなった外国人の学生と国立公園へ遊びに行きました。授業を聞いているだけではなくて、一緒に何かをしたという経験はとても思い出に残りますし、フリーデーを一緒に過ごした学生とは特に仲良くなれたような気がします。

CuriousU 全体としては、授業で自分のスキルをアップさせることが目的と言うよりも、授業や様々なアクティビティを通して世界中の人たちと交流し、友達をたくさん作ったり、自分の英語力の低さを痛感したり、海外の高いレベルの学力や、思考の違いなどを感じられる機会を得ることが目的ではないかと感じました。自分ももっと頑張ろうと思えるよい研修だったと思います。

### 3. 生活（住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど）

アムステルダム滞在で一番手間取ったのは、公共交通機関の利用です。アムステルダム市内はトラムや地下鉄などが通っておりとても便利ですが、日本のように駅には必ず改札があったりするわけではありません。どこでチケットを買えばいいのか、改札を通らずに電車に乗っていいのかと不思議な気分になりました。電車は改札を通さずに乗ることが出来ますが、時々車掌さんが回ってきてチケットを持っているか確認に来る時があります。知らず知らずに無賃乗車をしてしまわないよう注意が必要です。

curiousU 期間中は、テントに滞在していました。テント泊は日本の冬と同じくらいに冷え込むため、寝袋は借りることが出来ますが、冬用のインナーやニットは持って行った方が良さそうです。また、この年は非常に寒く、半袖などはほとんど必要ありませんでした。

シャワーは大学内にあるスポーツセンターの物を利用しますが、地面が濡れているのでビーチサンダルなどがあると便利です。また、個室のシャワーは男女兼用で非常に混雑するので、特に理由が無いときは利用を避けた方が良さそうです。

食事については、大学が提供してくれるものなので味や品質に期待は出来ません。大学内にあるコープは品揃えが充実しているので、食事に耐えられなくなったらコープで買って食べていました。

洗濯については事前に有料で可能と連絡されていましたが、靴下 1 足 120 円のような単位で思ったより高かったため利用しませんでした。下着は日程分持って行くか、手洗い用洗剤を持って行くとよいと思います。どうしても気になる場合は、寮には洗濯機があり自由に回すことが出来るので、寮に滞在することをおすすめします。

持って行って良かったものはクレジットカードです。バスの乗車券などは現金では購入出来なかったため、クレジットカードは必要と感じました。逆に、友達と割り勘などをする場合には現金の方が便利です。使い分けをした方が便利だと思います。

### 4. 危機管理（身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど）

curiousU 期間中はテントに滞在していたこともあり、パスポートとお財布とケータイは必ず



持ち歩いて居ました。大学内なので特に治安が悪いということはないですが、誰でも侵入出来てしまうので注意した方がよいと思います。

アムステルダムを観光している時に、一人の男性に声をかけられている間に何人かの男性に囲まれそうになりました。二人で行動していたのですぐに気づくことができトラブルには巻き込まれませんでした。人通りのあるところでも一人での行動は危険です。また、夏のヨーロッパは日が長く、夜の10時くらいまで明るい日もあります。だからといって夜遅くに歩き回るのはとても危険です。

#### 5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

外国人学生はもちろんですが、この研修で仲良くなった日本人学生からも刺激をもらいました。交換留学することを決めていてそれに向けて英語の勉強を頑張っている人、英語以外の様々な言語を勉強している人など、いろいろな目標を持ってユニークなことをしている人がたくさんいました。交換留学しようという考えもなく、よい経験になれば、という安易な考えで研修に参加することを決めた自分とは違って、尊敬することばかりです。

名古屋大学には様々な短期研修がありますが、この研修が長期留学を考えている人にとっては一番おすすめ出来る研修だと思います。外国人学生の中で自分の英語力ほどのくらい通用するのか、どのような時に留学のつらさを感じるのか、などがよくわかる研修だったと思います。また、英語が公用語ではない学生が非常に多かったので共感できる部分も多くあり、英語力の差をより感じることも出来ました。長期留学を考えている人だけでなく、海外に行ってみたい、という気持ちのある人にとっても今後の自分の進路に良い影響を与えられる研修ではないかと思っています。

#### 6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	円	30万円
海外旅行保険	円	
授業料(教材費含)	円	
滞在費(寮費など)	円	
食費	円	5万円
交通費	円	
その他(小遣い、通信費など)	円	
計	35万円	

自由記述欄 \*現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

オランダは薬物の使用が認められています。話には聞いていましたが、実際に町を歩くだけでそれを感じる事が出来ます。たとえば、コーヒーショップです。コーヒーショップと聞いたらカフェのようなイメージを持ちますが、オランダではコーヒーショップと書かれた店は麻薬が売られている非常に危険なお店です。ほかにも、お土産屋さんに行くと薬物をモチーフにしたグッズなどがありました。実際に薬物を売買する場面に遭遇したと言っている人もいて、常に危険と隣り合わせであるということを感じました。日本ほど安全な国はないな、とひしひしと感じました。



# 短期研修報告書

記入 | 2019年 9月  
所属 & 学年 | 工学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トゥエンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

## 1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

私がこの研修を申し込んだ理由は、このプログラムがトゥエンテ大学の主催するサマースクールに参加するというもので、他のプログラムと比べて日本人向けでは無く、実際に海外ではどのように学習しているかを知ることができると思ったからです。

私は海外に行くこと自体が初めてだったので、英語の勉強はもちろんですが、特に海外に必要な生活用品などを買い揃えました。

## 2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

CuriousU では、1日6時間の授業を7日間受けました。私が選んだコースはTechnology&Societyという授業で、技術革新について様々な側面から考え、追究するというものでした。歴史的、倫理的、心理学的などの観点から、技術とはどのようなものでありどうしなければならないかを考え、グループを作り、ディスカッションをしながら勉強をしていきました。授業の半分以上は講義形式の授業だったので、専門的な話を英語で聞いて理解していくのはとても難しかったです。

## 3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

オランダは夏にも関わらず朝は10度を下回る日もあったので、寒さ対策はしっかりしていくといいと思いました。ほとんどの人がテント泊を選んでいましたが、雨が降ると結構大変だったり、昼間はテントの中がとても暑くなるので最初の3日で購入したお土産のお菓子が溶けてしまったりしたので、私はキャビンや寮にしておけば良かったと思いました。

## 4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

観光の時には、荷物から常に目を離さないようにしてスリに気を付けていました。大学内では貴重品は常に持ち歩いていました。テントに鍵がなかったので、入り口に鍵をかけるように南京錠などを持っていけば良かったと思いました。

## 5. 留学を終えて感じること & 留学を考えている学生へのメッセージ

この研修は思っていたよりもハードスケジュールで、毎日がとてもたいへんでした。そんな中でとても重要だったことは友達と協力することでした。分からなかったことや、忘れ物があったりした時などにはすぐに助け合って乗り越えたほうがいいです。そして何よりこの短い研修をより良いものにするためにも、多くの人と関わり、新しい発見をしていくことが大切になってくると思います。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料 海外旅行保険	227360 円	旅行会社に支払った代金(ホテル代、昼食代、送迎代などを含む)
授業料（教材費含） 滞在費（寮費など）	77027 円	サマースクール代(大学内での食費、宿泊代などを含む)
食費	10000 円	観光時の食費
交通費	12000 円	電車、バス代
その他（小遣い、通信費など）	50000 円	交際費、ポケット wi-fi 代
計	376387 円	

自由記述欄 \*現地のおすすめ情報や留学エピソードなど自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

1週間食事やイベントで利用したメインテント。楽しい時も辛い時も毎日毎日同じサンドイッチを食べ続けたため、日本に帰ってからサンドイッチを食べるのをためらうようになってしまった。

